

三菱地所株式会社・株式会社三菱地所設計  
ザ ロイヤルパークキャンバス札幌大通公園北海道  
札幌市

個別分散



ザ ロイヤルパークキャンバス札幌大通公園

札幌市の都心部に国内初の環境に配慮した  
高層ハイブリッド木造ホテルが誕生

三菱地所株式会社は、札幌市都心部にある大通公園に面した場所に「ザ ロイヤルパーク キャンバス札幌大通公園」の建設を計画した。客室からは目の前に大通公園やさっぽろテレビ塔を望むことができるなど、ロケーションに恵まれた素晴らしいホテルである。建物計画からホテル運営まで、北海道産の建材や食材などの活用にこだわった「究極の地産地消」をコンセプトとし、建物設計は株式会社三菱地所設計が担い、2021年10月1日にオープンした。

低中層部(1~7階)は各種木質化を施した鉄筋コンクリート造、中層部(8階)1層が鉄筋コンクリート・木造のハイブリッド造、高層部(9~11階)を純木造とし、8階以上の床にはさまざまな構造に使える汎用性の高いCLTを採用した。

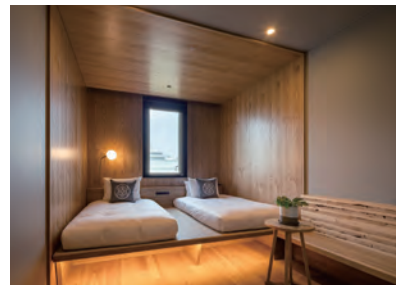
構造躯体における木材使用量は約1,060m<sup>3</sup>(外装材等も含めると

約1,200m<sup>3</sup>)となり、そのうち8割強を北海道産木材とした。構造躯体に使用する木材量は国内最大規模となり、建物全体をRC造とした場合と比べ約1,380トンのCO<sub>2</sub>発生を抑制し、地球温暖化対策に寄与している。

高層部の客室の内装は木を強調しながらもシンプルな空間に仕上げ、木に囲まれた山のキャビンで過ごしているかのような印象を深く感じることができる。また、すべての客室に「レコードプレーヤー」と「ウッズスピーカー」が設置されており、多くのお客さまにご利用いただき、ご好評いただいている。

最先端の設備仕様ホテルに  
ふさわしいパッケージエアコン

上層木造部の軽量化を目的とし、設備機器の屋上設置を避け、重量と設置面積が小さい寒冷地向け電気式ヒートポンプエアコンを各階に設置。お客さまの快適性を考慮した冷暖同時タイプを採用し、個別制御を可能と



スーパーリアツイン パークビュー(23m)

している。これにより、各客室ではお客さまそれぞれに適した室温設定が可能であり、必要エリアのみの運転も可能なため建物内の省エネルギーと快適性向上につながっている。また、BCP対策としてひとつの空調エリアに異なる系統から室内機を配置し、同時に停止することがないように系統分けを工夫している。

三菱地所グループでは、サステナビリティの取り組みとして、4つの重要テーマ「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」「Resilience」とテーマごとのKPI(重要業績評価指標)を定めており、今後もKPIに即した取り組みを行い、お客さまの満足度向上と環境負荷低減に向けた取り組みの両立を目指していく。



レコードプレーヤーとウッズスピーカー

## ザ ロイヤルパークキャンバス札幌大通公園

所在地:北海道札幌市中央区大通西1-12  
設計:株式会社三菱地所設計  
施工:清水建設株式会社  
延床面積:6,157.06m<sup>2</sup>  
竣工:2021年新設  
URL: <https://www.the-royalpark.jp/canvas/sapporodotopark/>

## ■ 設備概要

空冷ヒートポンプ(ビル用マルチ)  
12台、総能力計440kW  
[三菱電機]

